

おーぶん

URL PC版 <http://www.yaic.gr.jp/>
 携帯版 <http://www.yaic.gr.jp/i/>


発行:横浜AIDS市民活動センター
 〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
 尾上町ビル9F
 TEL:045-650-5421/FAX:045-650-5422
 E-mail:info@yaaic.gr.jp
 平日:13:00~20:00/土・日・祝:10:00~17:00
 (火曜日 夜間検査のため休館)
 監修:横浜市健康福祉局

新規HIV感染者／エイズ患者の状況

2008年度の動向 (速報値)
 (2009年2月厚生労働省エイズ動向委員会)

1万5439件

さて、なんの数字でしょう?

答えはこちら 

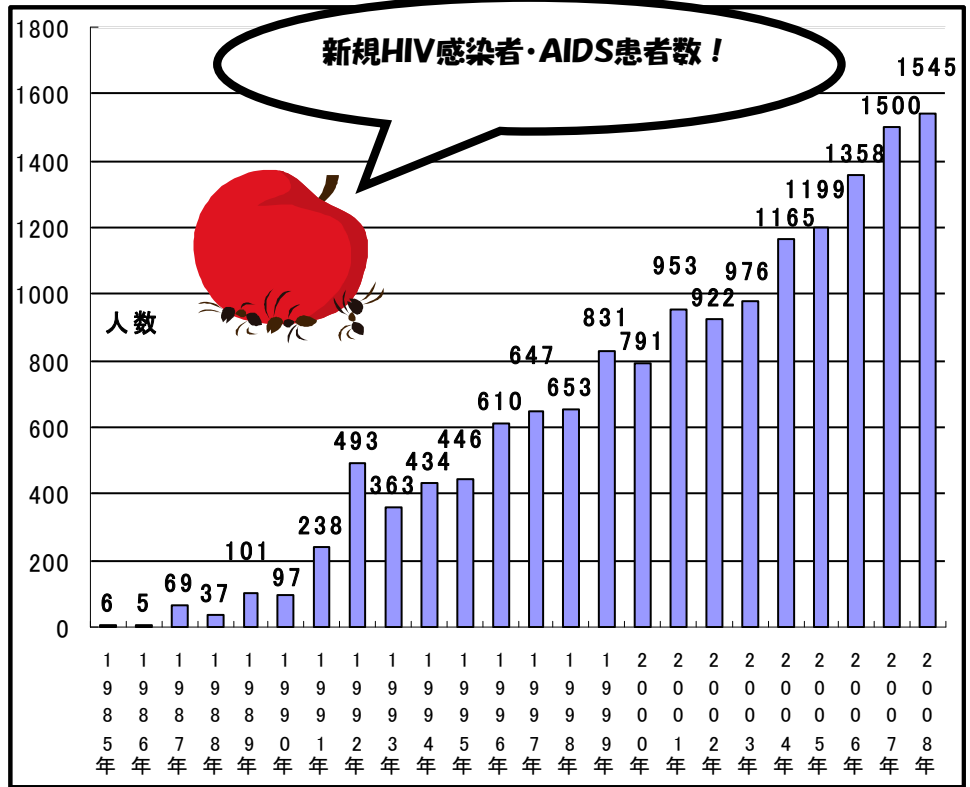


2009年2月18日に厚生労働省のエイズ動向委員会の発表によると、2008年の1年間の新規HIV感染者は1,113件(前年よりも65件増)、エイズ患者は432件と感染者・患者を合わせると1,545件になり過去最高を記録しました。新規HIV感染者を年齢別に見ると、20代が約3割、30代が約4割を占め、40代以上も前年よりも多くなっています。保健所等の検査・相談も前年よりも、かなり増加しています。

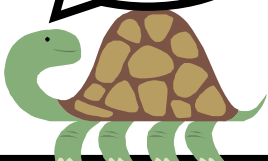
感染者が増えるペースが上がっているってホント!?

去年の9月末時点での日本国内のHIV感染者・エイズ患者の統計は1万5439件を突破しました。

1985年の最初の報告から、感染者累計が1999年の5000件になるまで、14年かかりましたが、2005年に1万件、2008年には1万5000件と年々早いペースで増えています。ここ4年では、毎年1000件以上の感染報告があります。



増えとりますなあ〜



新規HIV感染者
 AIDS患者
 の年次推移→

年	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
HIV	0	0	55	23	80	66	200	442	277	298	277	376
AIDS	6	5	14	14	21	31	38	51	86	136	169	234
HIV+AIDS 合計	6	5	69	37	101	97	238	493	363	434	446	610
累計	6	11	80	117	218	315	553	1046	1409	1843	2289	2899
年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
HIV	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1082	1113
AIDS	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	432
HIV+AIDS 合計	647	653	831	791	953	922	976	1165	1199	1358	1500	1545
累計	3546	4199	5030	5821	6774	7696	8672	9837	11036	12394	13894	15439

※2008年は速報値です。



知ってる？性感染症～クラミジア～



まだまだ流行中～クラミジア～



クラミジア感染症って聞いたことはありますか？2007年・横浜市内の行われているクラミジア無料・匿名検査では陽性率が男性・24.8%、女性・39.8%で、特に多かったのが**若い年代**ということでした。このようにデータを見ても、まだまだクラミジア感染症の流行が続いています。日本以外でもアメリカなどでは10代の少女の約4割がクラミジアに感染しているのではとされています。

クラミジアとはどんな病気！？

クラミジアはクラミジア・トラコマチスという細菌の一種です。クラミジアは性的接触（※口から感染することもあります）、母子感染により感染します。潜んでいる場所は、尿道、^{ちつ}膣、^{いんどう}咽頭（のど）などです。クラミジアに感染すると、男性は尿道にかゆみがあったり、尿道から^{うみ}膿がでたりし、女性はおりものが増えたりしますが、男女ともに自覚症状がないことも多く、本人が感染していることに気づきにくい病気といわれています。

後悔先に立たず

「性感染症は薬を飲めば治るから、そんなにたいしたことじゃないじゃん」とクラミジアに対して危機感を持っている人は多くありません。では、なぜクラミジアがそんなに問題にされているのか、みなさんは知っていますか？確かに、クラミジアは薬を飲めば治る病気ですが、クラミジアの怖いところは、知らない間にクラミジアになったことで、**不妊症**になったり、**エイズ**や**他の性感染症**に感染しやすくなってしまふからです。そうなった時に「ちゃんと予防をしておけばよかった…」など後悔しないためにも、きっちり、予防をしましょう！



クラミジアに感染しているかは検査を受けてみないとわからない！

クラミジアは、感染していることに気づきにくい病気です。どうやって自分がクラミジアに感染しているか知る方法は、検査すればわかります。クラミジアの検査は、病院で受けることができます。病院以外にも横浜市内の福祉保健センター等でもエイズ検査と一緒に受けられますので、気軽に受けて下さいね！もちろん福祉保健センターの検査は無料匿名で検査できます。

●横浜市内の無料・匿名クラミジア検査を実施している会場●

(★マークは福祉保健センターです。)

注意：会場によって検査時間や予約の有無が違いますので、電話で確認してから行きましょう。

- 月曜日：★青葉区 (Tel: 978-2438)
- 火曜日：★保土ヶ谷区 (Tel: 334-6347)
- 水曜日：★鶴見区 (Tel: 510-1832)
- ★南区 (Tel: 743-8242)
- 木曜日：★中区 (Tel: 224-8332)
- ★緑区 (Tel: 930-2357)
- 金曜日：★西区 (Tel: 320-8439)

- 夜間（火曜日）：横浜AIDS市民活動センター (Tel: 671-2729 (健康福祉局健康安全課))
- 土曜日：結核予防会中央健康相談所 (予約専用電話：664-2525※横浜市コールセンターにかかります。)



悩みは専門家に話すのが一番！

Q：性器がかゆくて病気なのかもと思って心配なのですが、手軽に薬局で買える薬でなんとかなりませんか？

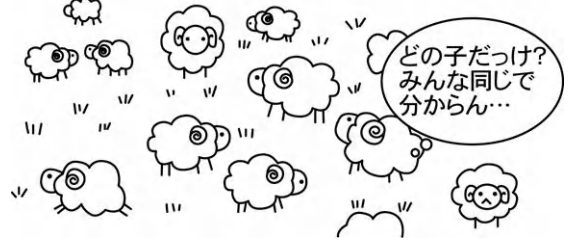


A：素人判断で、薬を使うのは止めましょう。恥ずかしくて病院へ行くのが一番です。異性の先生に診られるのが恥ずかしいという場合は、同性の先生に診てもらえるか病院に聞いてから行ってみてはどうでしょうか！恥ずかしいからと病院へ行くのをためらっていると、症状が悪化したり、治療に時間がかかるので早めに病院に行きましょうね！

二人で治そう！

Q：病院へ行ったらクラミジアといわれました、性的接触を持った相手にも言った方がいいですか？

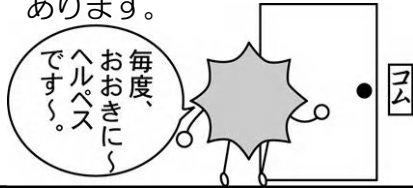
A：相手も感染している可能性もあるので、検査を受けるように進めてください。もし、相手も感染していた場合、自分だけ治療しても相手が治療して治していないと、自分がまた感染したりと、病気を繰り返してしまいます。



何度でも…

Q：性器ヘルペスは一度感染して、治っても、体調が悪いときにぶり返すって本当ですか？

A：本当です。性器ヘルペスの原因となるウイルスは、治療して症状が治ってもウイルスは体内に残るため、体力が落ちたときなどに再発することがあります。



みんなの疑問！！

性感染症の治療について



どこに行ったらいい？

Q：何科の病院に行ったらいいの？

A：男性なら泌尿器科・性病科、女性なら婦人科（産婦人科、レディースクリニックなど）・性病科に行って下さい。

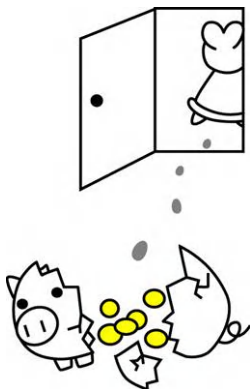
最近では、性感染症が性器以外の咽頭などに感染しているケースが増えているので、そういう場合は耳鼻咽喉科になります。



治療費は決して高くないのだ！

Q：性感染症の治療に健康保険が使えないという噂を聞いたことがあるんですが、本当ですか？

A：性感染症の治療はほとんど場合、健康保険が使え、治療費の3割を自分で負担するだけで済みます。（ただし、名前が知られるのがイヤとかで、病院に行くときに健康保険証を持っていかないと健康保険は使えないので、全額自費負担となります。）



治すことが第一です！

Q：性感染症の治療は、薬を飲むだけで治るのですか？

A：性感染症の治療は、病気によって様々です。薬を飲んだり、薬を塗ったりするだけで治るものもありますが、尖形コンジローマなどは外科的な処置が必要な場合もあります。病気を治すには先生の言うことをよく聞きましょうね、自己判断で治療を中断してしまうと、余計に治りにくくなったりするので要注意ですよ！。あと、治療中に性的接触をしてしまうと相手に病気を移してしまう可能性があるため気を付けましょう！



☆☆☆2009年4月にホームページがリニューアルします！☆☆☆

ホームページがより見やすく、検索しやすくなります。PC版と携帯版とそれぞれコンテンツが違いましたが、リニューアル後は携帯でもPCのコンテンツが見られるようになります。ホームページでは、ニュースレター「おーぴん」が読めたり、HIVの検査や電話相談のリストが掲載されています。その他に、いろいろ楽しいコンテンツがあるので、ぜひ見てね！

☆新・教えておねえさん～尾上家編～☆

こんにちは！私の名前は桜木まち。横浜 AIDS 市民活動センターで事務局員をしています。エイズについて考えてくれるみんなを応援する施設です。中学生になったばかりの拓海くんと未来ちゃんはカラダの変化や、ココロの悩みなど、不安になることがたくさんあるみたい。このマンガでは拓海くん未来ちゃんの悩みに、まねえさんが答えてくれます。さて、どんな質問が飛び出すでしょう？

このマンガは中学校の養護教諭の先生にご協力いただいております。
横浜市立瀬谷中学校 養護教諭 大津留 幸子 先生



“もし、感染してしまっても…”

HIVに感染して「人生が終わった」と感じる人もいるかもしれませんが、今は「HIV＝死の病」ではありません。HIVに感染しても定期的に病院にかよって治療し、体調管理に気をつければ、入院せず日常生活を送れます。ただし、今の時点では完全に治すことはできません。やっぱり、一番大事なのは、HIVに感染しないように予防することですよ!!